

③ 地域発信！ ふるさと便

9地域のアピールしたい事項や魅力的な事業などをお寄せいただきましたので、ご紹介します。

☎ 地域経営室 ☎ 63-7484

つつじが丘・春日丘自治協議会

問い合わせ先

☎・fax 68-1236

(つつじが丘公民館内) ✉ tsutsuji-kasuga.group@wh.commufa.jp



▼は〜とバス事業

「地域福祉バス」を運行して、高齢者など移動制約者に移動手段を提供

平成24年10月、市や自治会並びに住民の皆さんから支援を受けて、「は〜とバス事業」を開始しました。

会員制で、月平均約250人が利用。月曜日から土曜日に1日6便運行しています。

バスには、添乗員を配置し、乗り降りのサポート、そして運行ルートの説明を行っています。会員の自宅前で乗降できるので、高齢者にとってとても便利です。



▼ねこの手事業

住民の日常生活上の軽度の援助が必要な支援作業を提供

平成24年7月、旧つつじが丘自治会南集会所跡に、有償ボランティア事業の拠点として「生活支援センター」を開設し、「ねこの手事業」を開始しました。

利用者は、高齢者利用が中心です。支援作業は、細かい作業から庭木手入れ、引越し前の整理など多岐に渡ります。

現在、月平均10～15件の利用があり、低価格の援助で喜ばれています。



▼サロン事業

住民の「ふれあい」および「交流」を行うための機会や場所を提供

平成23年11月、つつじが丘公民館1階ホールに「交流サロン・モア」を開設しました。

公民館利用者だけでなく、多くの皆さんの交流の場となっています。1日平均約50人に利用いただいています。不定期ながら開催するミニコンサートなども、好評を得ています。

開設日時 月曜日～金曜日

午前9時30分～午後3時30分

参加費 100円(コーヒー付)

つつじが丘・春日丘自治協議会では、地域住民の福祉の向上を図ることを目的に、平成23年11月に、「有償ボランティア事業管理運営委員会」を立ち上げました。有償ボランティア事業として、左記の3つの事業を展開しています。

このまちにずっといたい

国津地区地域づくり委員会

問い合わせ先

☎ 69-1001 fax 62-6921

(くにつふるさと館内) ✉ kunitsu-ko@emachi-nabari.jp



9区で構成され、川の流れば、比奈知湖・青蓮寺湖・名張川に注ぐ山深い国津地区です。



人情厚い心の絆は、昔も今も変わりません。高齢化率は48%。高齢者の気持ちは50歳代です。



通信網が整備される中、地域の広報や回覧板は、各戸手渡しで安否確認を兼ねて配布しています。

国津地域には、90歳以上の高齢者が男性2人、女性16人、合わせて18人住んでいます。1月から2月にかけて、国津地区の民生委員児童委員が記念品をお届けしました。この訪問事業は約10年になり、今年は野菜などをしっかり扱ってもらえるようにミキサーをお渡ししました。ささやかなプレゼントでしたが、皆さん喜んでくれました。



90歳以上の高齢者宅を表敬訪問



一人暮らし老人の集い

健康で生き生きと暮らせる、生涯現役の国津を目指して！

3月3日、くにつふるさと館で、「一人暮らし老人の集い」を開催し、地域に住む一人暮らしの高齢者28人中、20人が参加しました。まず、まちの保健室職員による血圧測定と健康についての講話が行われました。そのあと、名張市レクリエーション協会の協力を得て、地域の絆を確認するといった意味を含めて、楽しみながら協力し合う手遊びや簡単なゲームを行いました。参加者からは、「外出する機会も減ってきているので、今日はみんなと遊べて楽しかった」といった声が聞かれるなど、外出のきっかけや、地域に住む仲間と触れ合う有意義な時間となったようです。

各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています

青蓮寺・百合が丘地域づくり協議会

問い合わせ先

☎ 64 - 6466 fax 64 - 6467

(百合が丘市民センター内) ✉ yurigaoka-ko@emachi-nabari.jp



なが〜い巻き寿司に挑戦 記録18m55cm(2月)



図工の授業を見守る (ほめほめ隊)



依頼されたお庭の草刈り (ユリポパイ)

自慢の地域を目指して！ 確実に！一歩ずつ！

青蓮寺・百合が丘地域
づくり協議会の取組み
を紹介します。

ますます輪(和)を広げる

◇百合小子どもクラブ

毎月1回休日にイベントを開催。遊びを通じ、子どもたちの創造性、協調性を養います。

☆今年度の活動実績

- ▼近大高専ロボットと遊ぼう (5月)
- ▼地域内オリエンテーリング (6月)
- ▼七夕飾り、水鉄砲ゲーム大会 (7月)
- ▼スイカ割り、種とばし大会 (8月)
- ▼竹ハンゴー炊さん、お泊り (9月)
- ▼グラウンドゴルフ大会 (10月)
- ▼竹ぽっくり作り (11月)
- ▼餅つき (12月)
- ▼インフルエンザ流行で中止 (1月)
- ▼スポーツ大会 (3月)

子どもは地域の宝

◇教育文化活動

子どもは地域の宝です。この宝を磨き上げていくことが、わたしたちの使命だと考えています。

☆主な取組み

- ▼百合小学習支援 (ほめほめ隊)
百合が丘小学校の授業に入り、先生を助けて子どもたちを見守ります。
- ▼校外学習支援「野菜づくり教室」
1年生 さつまいも
2年生 さつまいもと大根
3年生 ハヤトウリとブドウの実習
4年生 ひょうたん
5年生 米づくり
- ▼百合小校門での挨拶運動

感謝の言葉がやりがい

◇健康福祉活動

地域の高齢者を思いやる「向う三軒両隣の助け合い」が、「福祉の基本」であり、老いて住みよい住環境が、高齢者にとって「幸せの基本」です。

☆主な取組み

- ▼移動支援 (ゆりバス)
高齢者の買い物や通院の送迎
- ▼配食サービス (ゆりの花)
高齢者の見守りを兼ねて活動
- ▼生活支援サービス (ユリポパイ)
高齢者の生活上の困り事を手助け
- ◎上記のほかにも、「園芸活動」「サロン活動」など高齢者の居場所づくりの拡充を目指します。

箕曲地域づくり委員会

問い合わせ先
(箕曲公民館内)

☎・fax 63-0453

✉ minowa-ko@emachi-nabari.jp

「桃」をイメージした事業



みんな元気ぴいちぴち
ももちゃん体操

子どもから高齢者まで誰もがができる体操にしようと、「桃太郎」のメロディにのせた歌詞や簡単な運動を健康福祉部のメンバーで形にしました。地域のイベントや健康教室で体操を広めています。

地域で子育て
ももちゃん広場



毎月第3木曜日(8月・12月を除く)の10時から11時30分まで、箕曲公民館で開催中。地域ボランティアの協力により、気軽に情報交換や相談ができ、親子が安心して遊べる場所を提供しています。

桃のほほえむ地域活性化事業

箕曲小学校の校歌に「桃のほほえむ花の園」と歌われているように、かつては地域には春の訪れを告げる桃の花園がありました。その桃をイメージした、箕曲地域の事業や製品開発を目指しています。

◆「桃」の植樹事業により郷土愛、地域意識を高めていきます。
◆「桃」をイメージした製品を開発します。
・酒造りをモデルとした地域産品
・和洋菓子・飲食店メニュー など
◆酒米作りのために休耕田を再生し、今春より稲作を開始します。すでに、草刈、耕起(おこし)を行いました。
◆これらの活動を通して、イベントや交流など地域の情報発信をしていきます。



斎王ゆかりの地、夏見廃寺広場での「桃の木植樹祭」

「箕曲は桃の里(MVP)」構想

「箕曲は桃の里(MVP)」構想は、「生きがいを持って暮らせる明るいまち」「人とのふれあい絆を大切にすまちなち」「暮らしを守る安心安全のまちづくり」を目標としています。

この構想の実現のために、市との協働事業として提案した「桃のほほえむ地域活性化事業」の第一弾として、3月3日の桃の節句に、地域の歴史的遺産である夏見廃寺広場において桃の木植樹祭を実施しました。

各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています

赤目まちづくり委員会

問い合わせ先
(赤目公民館内)

☎・fax 63-0329

✉ akame-ko@emachi-nabari.jp

赤目地域で受け継がれる行事

◆子どもたちの年末警戒

檀地区では、自主防災隊を昭和53年に発足させました。有事の際には1戸に1人が出動して自分たちで地区を守ります。今では、年末警戒に小学生も参加して「火の用心 サンマ焼いても家焼くな」と寒風の中を連呼しながら、地区の防火意識の啓発に役かっています。



◆ちまきづくり楽しむ催し

端午の節句には誰もが食べていた「ちまき」をみんなで作り、楽しむ催しを毎年6月に開催しています。



柏原地区には、天正伊賀の乱(1581年)以降、「ちまきを作ると白いちまきが赤く染まるので作ってはならない」との伝承を先祖から今日まで言い伝えられている家があります。このため、地区集会所に集まりみんなで「ちまき」を作ります。

また、この催しは、お年寄りや子どもたちが一緒になって交流することができ、「世代間交流」の場としても大変有意義です。

歴史と文化を育む 魅力あふれる赤目

赤目は、赤目四十八滝に代表される景勝地を有し、古い歴史と伝統を持ちます。しかも住民相互の連帯感の強い町です。赤目まちづくり委員会では、地域ビジョンに3つのメインテーマと7つのサブテーマを定めて具体的事業の実現に取り組んでいます。中でも、メインテーマの一つ「歴史と文化を育む魅

互の連帯意識により古くから続けられている伝統行事がたくさんあり、今も脈々と受け継がれています。今後もこれらの歴史資源を

力あふれる「わがまちあかめ」を築くため、現在は、神社・寺院や主な史跡などに説明板や標識の設置を進めています。



柏原城跡に説明板を設置

生かして、住んでいる人も訪れる人も満足できる魅力あふれるまちづくりに取り組んでいきます。

すずらん台町づくり協議会

問い合わせ先
(すずらん台市民センター内)

☎・fax 68-1007

✉ suzuran-ko@emachi-nabari.jp

笑顔が絶えない活力ある町づくり。 人づくりをめざして

ライフサポートクラブ発足6年目 安心して生活できるすずらん台

高齢者や障害を持つ人の生活を支える「ライフサポートクラブ」が活動を開始したのは、平成20年4月です。当時は、全国的にも移動支援と合わせて生活支援を行う事業例は少なく、設立準備に大変な苦労がありました。

有償ボランティアの概念を取り入れ、サービスを受ける側は実費程度を負担することにより、心の負担を少なくし、提供側は謝礼金を受け取ることで、心を含めてサービスを提供する制度になっています。

活動実績を年次的に見ると、会員数、移動支援、生活支援ともに順調に増加しています。これは、地域福祉を担う「まちの保健室」「民生委員児童委員」「自治会役員」などと緊密に連携している成果です。



住民のたまり場「サロンきずな」

平成22年4月にオープンした「サロンきずな」は小学生から高齢者まであらゆる年代のたまり場として親しまれています。

また、日曜日に開催する朝市には、パンや、住民生産の野菜のほか、第2・4週には干物が並び好評を博しています。



中学校用地活用 実行委員会で計画推進

すずらん台のシンボル公園として中学校用地1万7000㎡を整備する計画が進行中です。

森林公園、こども広場、イベント広場、グラウンドゴルフ予定地、防災公園などを「サロンきずな」に隣接して整備します。住民に親しまれる公園にするため、名称を公募しました。その結果「すずらん台きずな公園」に決まりました。



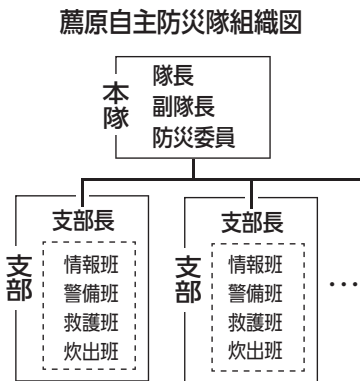
各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています

薦原地域づくり委員会

問い合わせ先
(薦原公民館内)

☎・fax 63 - 1800

✉ komohara-ko@emachi-nabari.jp



私たちの地域では、昭和60年代に自主防災隊が組織されましたが、幸い大きな災害もなく、その組織は機能することなく有名無実の状況で今日に至っています。
このため平成24年度はあらためて「防犯・

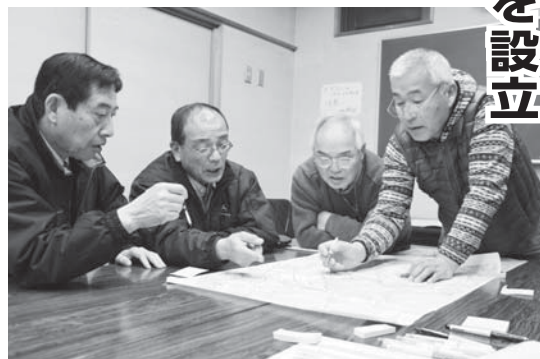
18年前の阪神淡路大震災や、一昨年の東日本大震災の悲惨さは想像を絶するものであり、いつ私たちの身に降りかかってくるかわかりません。これらの大災害では「いざ」と言うときに、近隣や周辺地域の人たちによる共助がいかに大切か、いかに多くの私たちの生命や財産を守ったかを、思い知らされたところです。

「薦原自主防災隊」を設立

薦原地域では、地域ビジョンの柱の一つに「防犯・防災」などの安心・安全・安住の里づくりを地域のみんなが進めることとしています。

昨年夏に、名張市のハザードマップが各戸に配布されました。私たちの地域でも洪水や土砂災害などの危険な箇所が多く存在していることが明らかになりました。

みんなが安心して住める安全な地域に



防災マップの作成に取り組む防災隊員

「防犯」を最優先課題として取り組むこととしました。

昨年の8月に新たな組織として薦原公民館に防災隊本隊と、各地区の7カ所に支部として情報班や警備、炊き出しなどの班員を配した、総勢80人の「薦原自主防災隊」を設立しました。

昨年10月には危機管理室の協力を得て、隊員の研修会を開催し、現在は各支部ごとに住み慣れたわが地区をもう一度見直し、危険箇所がないか、避難経路は安全かなどの「防災マップ」作りに取り組んでいるところです。

3月には防災隊による「図上訓練」や、その後住民参加による「災害対応訓練」などを実施するとともに、防犯灯や災害時の緊急資材の整備などを進め、万が一に備えた安心できる地域を築き上げていくこととしています。

川西・梅が丘地域づくり委員会

問い合わせ先
(梅が丘市民センター内)

☎・fax 61 - 2855

✉ umegaoka-ko@emachi-nabari.jp



駐車場事業

梅が丘では住宅完成後26年が経過し、当時の子ども世代が車を持つようになったことなどから、路上駐車が大きな問題となっています。

そこで、平成25年度、地域づくり委員会が市の遊休地を有料駐車場として整備します。問題解決を図るとともに、収益を地域ビジョンの推進費用として有効活用します。

「梅まつり」を初開催！

杉谷神社参道の歴史ある梅をはじめ、梅が丘の枝垂れ梅約1500本も植栽から10年以上が経過し充実してきました。ぜひ、観梅にいらしてください。

日時 3月21日(土)～24日(日) 午前10時～午後2時

場所 梅が丘市民センター ロビー「憩い茶屋」

◎甘酒の無料提供があります。



コミュニティ喫茶

昨年9月に、市民センターロビーにコミュニティ喫茶「憩い茶屋」をオープン。市民センター利用者はもちろん、散歩の休憩、ママ友の交流の場にもなっており、2月末まででのべ約1,900人の利用がありました。

8人のスタッフが交代で皆さんのお越しをお待ちしています。世間話など気軽にお声がけください。



環境美化事業

ボランティア20人で、団地内空き地所有者から草刈りを受託したり、市から公園や緑地帯の管理を受託し、草刈りや梅のせん定などを行っています。



防犯パトロール隊

平成24年度から、「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」とパトロール隊を結成し、42人が交代で昼・夜活動しています。

安心、安全、ふれあい、友愛の
住みよいまちを目指して！

川西・梅が丘地域づくり委員会の特徴的な活動を紹介します。

各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています